

平成24年度

報告 東日本大震災遺児支援募金活動 6月7月



私たちの声を聞いてください。 藤崎前

6月 合計額 214,208円 を「東日本大震災みやぎこども育英基金」に寄付しました。

ありがとうございました。

7月 合計額 274,763円 を「東日本大震災みやぎこども育英基金」に寄付しました。

ありがとうございました。

募金活動の帰り道、生徒たちから預かった募金袋が自転車の荷台でオモリのようにうごめき、何度もハンドルをとられました。その度、必死に支えます。そのオモリは生徒たちの、心からの声のおもさと、市民の方たちの応援してくださるおもさです。これからも必死で応えます。

通り過ぎてから引き返してきて、募金箱をもった生徒に声をかけながら人数分のお茶を置いて行った方。道を挟んで、2グループが活動していると、律儀に双方へ募金して行った方。

街の中だけではありません。いつもこんな応援もあります。5月、6月、7月と、持って歩くのさえつらいほどの重さのお金を、県の子ども基金へ寄付するため、近所の銀行へ持って行きました。3月からそうしているので、行員の方もご存じです。「少しお待ちいただくことになります。」と言って、何人もの行員の方で、募金額を数えてくれます。生徒たちには募金活動の翌日にはお昼休みに集合して、自分の班の募金額を数えて報告書をつくらせています。その合計があえばよいのですが、銀行の方にいつも申し訳なく思っています、一度も合計額があったためしはありません。

銀行で無料で数えてくれて、寄付なので手数料も取らずに、県の子育て支援課へ振り込んでくれます。小銭が多いのでかなりの労力かと思います。帰りに「ありがとうございました。」と言うのですが、行員皆さんでの、声をそろえた「ありがとうございます」の方がいつも大きく響いてきます。

最初の善意の手によるお金が、生徒たちの声に呼ばれて、募金箱の中に入ったところから、生徒たちにいったんは集計されて、行員の方たちに数えなおされ、県の震災遺児の子ども育英基金へ届けられる。そして、こどもたちが学校を出るまでの費用に役立てられる。そうなるまでに、たくさんの人の作業の手を経て生徒たちの集めた善意のお金が役立てられるようになっている。そのことを当たり前と思うようになったら、この活動はすぐにやめなければいけないと思っています。

震災は風化していない。しかし、記憶は離れて行く。街に立ち続け、訴え続ける生徒たちの声が、街の人たちといつまでも一緒に前進して行く力でありたい。

そう願って、生徒たちは、また街に立ちます。どうぞよろしくお願いします。

ありがとうございました。

(高橋 記)

生徒感想

○いろいろな人々とふれあって、いろいろな職業の人からあたたかい声をかけていただく中で、つらい思いをした人の声や、そんなつらい中でも小さな手や大きな手にお金をにぎり私たちに思いを託してくれる人を知りました。

(3年)



三越前 さあ、がんばりましょ。



「私たちの募金は震災で親を亡くした子どもたちのために使われます。皆様のご協力をお願いします。ありがとうございます。」

○人数も少なく、とても暑かったけど、がんばれたと思います。多くの人に立ち止まり募金してもらったり、通り過ぎたけどまた戻ってきて募金してくれた人などがいて、とても嬉しかったです。たくさんの人の温かさを感じました。

○小さい子どもが募金している姿につられて募金して下さる方が多いように感じた。今回の参加人数は少なかったが、声を出して頑張った。募金して下さった方に「頑張ってね」と言ってもらえることが多くてうれしかった。この感謝の気持ちを忘れない。 (2年)



クリスロード入口 ハトの場所です。苦手です。訴え顔も、こんな状態でした。

○しっかり声を出せたからよかったです。

○来る人来る人が、頑張って下さいと声をかけてくださり、いつものことながら嬉しかったです。10月も頑張りたいです。次は、もっと笑顔を手がけます。 (2年)



クリスロード入口 風があります。でも暑いんです。のどカラカラ。



三越前 お立ち台です。今日は指導のおじさんがなんだか近くにいました。

- 5人全員しっかり集まって取り組むことができたのが一番よかったと思う。
- 募金箱に入れて下さった市民の方々にしっかりお礼の言葉を言えたのが良かったです。
- 普段の土日は家からでなくてダラダラとしているのですが、その時間を間接的にでも人のために使えて良かったです。このことは将来の私にとって絶対にいい体験になります。もっと大きな声を出せたはずなのに恥ずかしくなってしまって出すことができませんでした。次はもっと頑張りたいです。(1年)



三越前 楽しく。というか、楽しいです。ありがたいです。

○前回より頑張れました。前回はお祭りの日だったこともありたくさんの方が募金してくれましたが、今回はスルーされることが多かったです。でも2万円を一気に募金してくれる人や、小さい子には大きい出費であろうに募金してくれる子どもがいました。(1年)



三越前 過去最高かもしれません。こんなに反応のよかったのは。

○一言声をかけながら募金をしてくれた人もいたので、とてもいい励みになりました。同じ方向ばかり向いてしまうので、もうちょっと周りを見ながら募金活動をするように次回心がけます。

○震災から1年以上経ったので、通行人の方々もなかなか立ち止まらなくなりましたが、それでも万札を入れて下さる方や小さい子どもも入れてくれたので、まだまだ頑張ることができて良かったです。毎度ながら声がかかるので、何らかの対策をとりたい。

(2年)



「ありがとうーございまちゅねえ。」

○河北の取材があったので、光栄です。

○アーケードの外に立っていると、一度行き過ぎてからわざわざ戻ってきて募金をしてくれる方までいました。(2年)

2012/07/21 (Sat) 20:18